

蔵増北青壮年会だより  
発行 第41号  
平成16年7月20日

# そらねん



発行人会長 今田 光一  
編集委員長 秋保 栄  
編集 機関紙編集委員会



date 平成16年4月4日 舞鶴山山頂にて (役員参加)

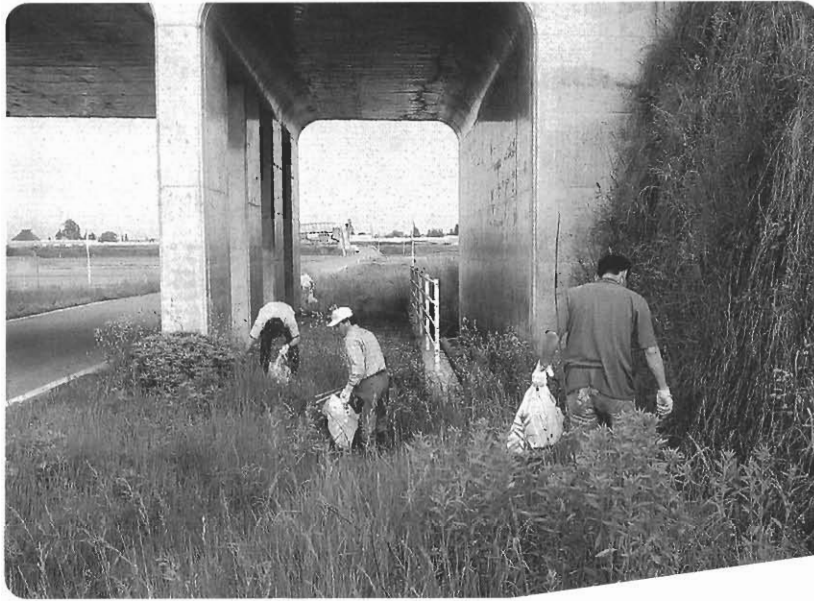
## 清々しく

## 市民の山 舞鶴山 を

## クワイーンアップ

市連合青壮年会一斉清掃

私たちにとって、最も身近な山「舞鶴山」  
心ない人が捨てた「ミ」が散在。  
「きれいな山を取り戻そう」  
「桜まつりは清々しい景色の中で」  
平成十一年から市連合青壮年会  
で一斉清掃に取り組んできた。各地  
区から総勢四百名が集う。  
参加者は、「ミを見つけたからには見逃す」とはできないこの思いで、急斜面や、やぶの中、袋片手に掻き進む。  
たぶん捨てる人はホィ気分。だけど、捨てる人はきれいなまことにしたいとの一心で。いつかは届くよこの思い。



放置しておくと、小さなゴミがだんだん大きな一面に。きれいにしておくと、捨てにくくなるみたい。まるで「割れ窓理論」(※1)のように。

### 臨時総会では

総会に先立ち、臨時総会が平成十六年二月十六日、北公民館で開催されました。

総会の議事が円滑に進むよう意見調整を図るため臨時総会を毎年設定しており、次のような報告や、方針規則改正案等についての議

# 交流を深めよう 温かき隣人と 平成十五年度臨時総会・総会開かれる

論が行われました。

## 盆踊り音響機材の借り上げについて

昨年の総会の場で議論になりました盆踊りの際の音響機材の調達については、鈴木清雄さん(一区)の御厚意により機材をお借りすることとし、謝礼をお支払いして対応したとの報告がありました。



突っ込んだ議論は明日への活力(臨時総会)

## 新年を祝う会 の見直しを

二〇〇一年一月一日、新世紀を記念して開催され、今年で四年目の「新年を祝う会」について、有意義ながらも出席者が少ないため、もっと会員が集まりやすい時期にできないか、例えば一月末にとか、雪片付けに合わせてとか、盆踊りの前とか、

多種の意見があり、見直しではとの提案がありました。

## 総会にて

総会は二月二十二日(日)開催され、最初に昨年退会されました山川富雄さん、鈴木清雄さん、鈴木幸雄さんの功績に対して感謝状贈呈が行われました。

十五年度を振り返って 事業経過報告の中では、平成十五年に新たに「野山を歩こう会」が発足し、部



今年もガンバります。どうぞ御協力を(平成16年度役員)

活動新規加入者も多く、会員の交流の広がりと、活発な活動が展開されたことが報告されました。  
また、昭和六十一年から発行している機関紙「そうねん」が十七年目を数えた平成十五年十二月に第40号が発行され、これを記念して歴代編集委員長による座談会を開催、過去を振り返り、これからにつなげて行く良い取り組みとなったとの報告がありました。

(※1)「割れ窓理論」(ブローケン・ウィンドウズ)とは、言葉のとおり、建物の窓ガラスが割られて、そのまま放置しておく外部からその建物は管理されていないと認識され、割られる窓ガラスが増える。建物全体が荒廃し、それがさらに地域全体の荒れにつながっていく。放置は荒廃の始まりという理論。アメリカの学者ジョージ・ケリング博士の理論。

表彰規程を一部改正

改正前 表彰の資格は「監事以上の役職、部長、機関紙編集常任委員」と定められておりましたが、改正後の規定では包括して「役員」に改められました。

また、表彰時期について改正前は、「退会時」となっておりましたが、実情に合わせて「退会の翌年」に改められました。

盆踊り前日に  
ビアパーティーを

第二回役員会

五月十二日の役員会において、見直すこととなっておりました「新年を祝う会」について、時期、内容を変え、会員全体が参加できる設定を最優先に検討し、盆踊り大会前日に行うことになりました。詳細は、後日連絡します。全員大いに飲んで語らい、交流を深め合います。

いつ・どこ・会費(予定)  
八月七日(土) 時間未定  
北堀公園 千五百円  
生ビール・ほか

(秋保栄 記)

若い人の感覚にも  
マッチする青壮年会に

新会長 今田 光一



今田光一さん (S.27.11.生まれ)

Profile

北一区、西小路生まれの西小路育ち。生粋の蔵増人である。さそり座のB型、性格はいたって温厚。幼少時代から素直で、ご両親に心配をかけたことはないとか？

釣りが趣味であるが、今は暇がなく、なかなか出かけられないとのこと。好きな言葉は「未永く…。」今年から青壮年会の会長として奮闘中。今は地域のために「努力あるのみ」がんばれ会長！(土屋政美 記)

この度北青壮年会の会長という大役を仰せつかった今田です。私に会長職が務まるか大変心配ですが、副会長はじめ役員の皆様、会員の皆様の御協力を仰ぎつ

つ、蔵増北青壮年会をより一層盛り上げて、「蔵増に北青壮年会あり」と言われるようにまい進してまいりたいと思います。

北青壮年会の会員数をみてみますと、毎年新しい会員が加入しておりますが、五十歳代半ば過ぎで卒業される先輩方もおり総数では年々減少傾向にあります。私が思うに、単純に年齢だからやめるということではなく、楽しいことは続けられるよう、また、地域の人との交流が途切れないよう、さらに地域活動が続けるためにも退会時年齢の底上げが必要だと思いますし、そのためにも先輩方の御協力が欠かせないものと思っております。

おります。なにとぞ御理解と御協力をお願いしたいと思えます。

全体の親睦を深めるためこれまで「新年を祝う会」等交流の場を設けてきたところですが、今年は更に沢山の人が参加できるように盆踊り前日にビアパーティーを計画しました。初めての企画ですが、皆さんと一緒に親睦を深め、色々な提案を数多く出していただき、若い人の感覚にもマッチするような団体に持つて行きたいなと思っております。

また、恒例の盆踊り大会(八月八日・日)では、地区民の皆様、各種団体のご協力をいただきながら真夏の夜を盛り上げていきたいと思っておりますので多数の参加をお願いします。

地域の発展と住みやすい蔵増にするために、青壮年会への期待は大きいと思えます。みんなでがんばりましょう。

新役員紹介

- 会長 今田 光一(北二)
- 副会長 後藤 賢次(北一)
- 理事 秋保 栄(北二)
- 五十嵐利夫(北三)
- 佐藤 春彦(北一)
- 森谷 忠男(北一)
- 菊地 義盛(北一)
- 森山 美典(北二)
- 佐藤 俊彦(北二)
- 山崎 進(北一)
- 山崎 秀樹(北三)
- 土屋 忠治(北二)
- 東海林由人(北三)
- 監事 土屋 光春(北一)
- 土屋 貞俊(北二)
- ソフト部長 鈴木光芳(北一)
- 将棋部長 森山美典(北二)
- 麻雀部長 山崎 稔(北三)
- 書道部長 土屋博明(北二)
- 写真部長 大木富雄(北二)
- 野山を歩こう会 今田仁志(北一)
- 編集委員長 秋保 栄(北二)
- 編集常任委員 森山美典(北二)
- 今田仁志(北二)
- 東海林隆(北二)
- 上部機関
- 市連合副会長 奥山正男(北二)

# フレッシュマン

★  
新会員にインタビューしました



多くの人と  
知り合いたい

北二区 秋保秀弘さん

秀弘さんは、昭和45年生まれ。奥さんの佐智子さん、温泉大好きな長女の秀華ちゃん、元氣いっぱいいの長男の松平くん、松弘さん、良子さんの御両親、そしておばあちゃんとの七人家族です。

大学を卒業してから県外の医薬品原薬製造関係の仕事に従事。昨年六月に転勤で山形に戻りました。仕事の内容は主に、仕入れ、製品管理を担当しており、心がけていることは、

「最終的に薬を使う患者さんのことを考え仕事をする。」とのことでした。

趣味はスノーボード、スキー、テニス、ジョギングとオールマイティーで、スポーツに明け暮れる体育会系と思いきや、観葉植物、サボテン等を育てることも大好きで、自宅内には緑が多く、癒される気持ちになりました。

青壮年会に入り、どのような活動をしたのかと伺ったところ、「しばらく地元を離れて生活し、久々に地元に戻ってきたので、地域のことがよく分からない。色々な活動に参加して、多くの人々と知り合いたい。」とのことでした。これからの積極的な活動を期待し、紹介を終わります。

(聞き手 今田志)

## まんてん おばあちゃん紹介



### 101歳 元気のヒミツは 家族愛 今田すみゑさん宅訪問

明治三十六年一月十一日生まれ、今年で満百一歳を迎え、昨年は天童市長から百歳のお祝いを受けられた

写真の前に身だしなみを整え、とってもおしゃれでステキなすみゑおばあちゃんです。いつまでもお元気でネ。

今田すみゑおばあちゃん宅へ夜八時過ぎにお邪魔して、長生きの秘訣等を取材させて頂きました。すみゑさんは青壮年会の今田仁志さんのおばあちゃんです。玄關が上がってすぐ左の部屋、ドアを開けるとおばあちゃんの良い笑顔が目飛び込んで来ました。「今晚わっすう。いろいろお話聞かしえでけらっしやえ。」

「どうもおしえわ様、わざわざ御苦労つすう。」こんな会話から始まり、私が土屋よすの孫であることを伝えると、「なんだて、よすさんの孫かあ。どこの父ちゃんだかわがらぬけあこらえ。」と答えてくれました。ちなみに私の祖母は三年前に他界しましたが、すみゑおばあちゃんより二つ年下の九十六歳でした。会話を重ねるうちに感じて来たことは、話の内容、口調のはっきり

した、増して何よりも百一歳とは思えない元氣ハツラツとしたおばあちゃんだということ。早速長生きの秘訣とは訊ねると、好き嫌いな食べ物は何でも食べるのと、そして毎日新聞に目を通し、テレビニュースを欠かさず見て、夜九時には就寝する規則正しい生活を送っているという、特別なことではない本当に素朴な答えが返って来ました。

最後にすみゑおばあちゃんひとりに助けられ、支えられて毎日楽しく過ごさせてもらっている。「この言葉から私が感じとった長生きの秘訣とは、今田さん家族のみなさんがお互いを思いやりながら明るい家庭を築いている所にあるのかなあ、とつくづく感じながら帰って来たところです。すみゑおばあちゃん、これからも笑顔で絶やさずいつまでもお元気で長生きしてくださいね。」

(聞き手 土屋忠幸)

# サポートに全力

ソフトボールクラブ新部長 鈴木 光芳



今年度よりソフトボール部長になりました一区の鈴木光芳です。蔵増北青壮年会に入会して六年目になります。

私がソフトボール部長に選ばれて戸惑いと緊張で頭の中が真っ白です。実は今までソフトボール部に入部はしていたものの、市連合青壮年会ソフトボール大会は一回も参加したことはありません。参加したのは反省会だけでした。こんな私が部長とは大変恐縮でなりません。今年からは気を引き締めて頑張ります。頑張りますと言っても私がソフ

トボールをやるわけでは  
ありません。皆さんが優勝  
できるようにサポートさせ  
ていただきます。

さて、以前蔵増北壮年会  
は村山地区大会において  
度々白熱した試合を行った  
と聞いております。そして  
昨年は二回戦で青的壮年会  
と対戦して7対7の同点で  
ゲームセット、ジャンケン  
で惜しくも敗れました。

今年も市連合青壮年会ソフ  
トボール大会が七月十八日  
に予定されています。今回  
は第30回大会ですので是  
非頑張つて優勝を狙いた  
いと思えます。



## 野に入る人は自然を愛して

二区編集委員

十屋 忠幸

私は溪流釣りを始めて十  
数年になる。

ある年、近年にない濁水  
の夏の事。本流は全く水が  
無く、なんとかちよろちよ  
ろと水が流れている支流を  
見つけ足を踏み入れた。

前方の流木の陰にバケツ一  
杯分程度の水溜りを見つけ  
た。そつと糸を垂れると、  
流木の陰で見えないのだが  
餌が水面に着いたか着かな  
いうちに糸が引き込まれて



しまった。胸の高まりをこ  
らえながら慎重に竿を上げ  
てみるとなんと30cmオー  
バーの岩魚と対面してしま  
った。釣りを始めて初の尺  
物。この時私は、厳しい逆  
境にも負けない生命力の偉  
大さを改めて感じ、32cmの  
岩魚をそつとリリースした。

最近、山に入る人が大変  
多くなつてきている。登  
山、釣り、山菜採り、写  
真、様々な趣味を持った  
人々で賑わい、年々増加  
している。

ある時、西川町の岩根  
沢の奥から入った銅山川  
上流で、場違いな光景を  
目にしてしまった。

おにぎりの包装ラップ  
やビールの空缶等が入っ  
たスーパーのビニール袋



自然の恵みを大切に(銅山川にて)

がこみ上げて抑えることが  
できなかった。

高齢化社会、余暇利用、  
アウトドアスポーツとして  
最高の域に属する釣り。私  
たちが受ける自然の恵みを  
大切にしてこそ、人生の中  
に活力と潤いが与えられる。  
釣り人はもつと自然を愛す  
ることを知ってほしい。

が、川の流れの  
上の木の枝に結  
い下げられてい  
た。タバコの吸  
殻でさえ持ち帰  
つてくる私にと  
つて、あまりの  
光景にショック  
と怒りの気持ち

# 強いダブル優勝 新春麻雀・将棋大会 鈴木清雄さん

## 新春麻雀大会

一月十一日、第四回新春麻雀大会を北公民館において十六名の参加者を得て開



おめでとう清雄さん、会員カムバックはいかが？

催しました。昼食を挟み六回戦まで熱戦が広げられ、上位四名による決勝戦は星の潰し合いとなり、五勝一負けの同率、点棒勝負となって、優勝 鈴木清雄

準優勝 森谷茂泰 三位 土屋強さんという結果でした。表彰式後、懇親会が行われ、ルール見直しと、多くの人に参加を呼びかける話題で盛り上がりました。(山崎稔記)

\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*

## 新春将棋大会

恒例の新春将棋大会が二月十一日に北公民館で開催されました。

予選リーグでは、毎年参加し激闘を広げる渡辺秀治さんと森山一男さんが抜け出し、決勝トーナメントへ。予選トップタイの成績で抜け出したのは渡辺秀治さんと鈴木清雄さんです。残念ながら昨年



次の一手は。和やかな中にも緊張感(新春将棋大会)

の覇者、山崎秀太郎さんは敢闘トーナメントへの進出となりました。

決勝トーナメントでは、後藤賢次、森山美典、渡辺らが次々と敗れ、勝ち進んだのは鈴木清雄さんと森山一男さんで、元将棋部の鈴木清雄さんが激戦を制しました。本当におめでとうございます。(森山美典記)

\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
☆鈴木清雄さんの談話  
新春麻雀大会と将棋大会のダブル優勝を達成でき、本当に嬉しい。青壮年會に

所属していた時には、両方の部活に入り、月例会を楽しみにしていた。今も将棋部の月例会にお邪魔して

将棋を楽しんでいる。是非、来年の大会にも参加して連覇を狙いたい。

# あと一步 連覇ならず 市連合将棋大会 準優勝

去る二月二十二日、市民プラザ「バルテ」において第二十九回天童市連合将棋大会が開催されました。我々蔵増北青壮年會は、

昨年度大会において優勝しましたが、ここ十六年間で連覇を成し遂げたチームがないため、意気込んで

本大会に臨みました。

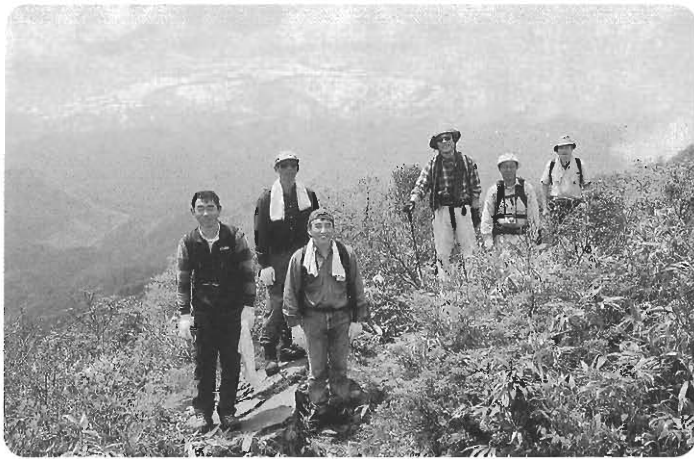
ところが、予選リーグ初戦でいきなり、北青壮年會AチームとBチームの対戦となり、結果はAチームが貫禄勝ちし優勝トーナメントに駒を進めました。

決勝トーナメント一回戦は、寄の壮年會を二対一で



あの「月下の棋士」も百選練習の清雄さんには参った。

撃破。準決勝、一昨年優勝の荒谷青壮年會を二対一で退け連覇の夢が目前に近づきました。決勝戦は、五日町青壮年會との壮絶な戦いとなり、佐藤政幸が勝利し、能沢常也が惜敗し一勝一敗。最後、鈴木清雄の粘りもあと一步で準優勝に終わりました。(森山美典記)



月山も、朝日も、もう手が届きそう。(葉山山頂前・大僧森にて)

# 残雪の葉山に行く 野山を歩こう会 春のトッキング

五月三十日(日)、「野山を歩こう会」今年度第一回目の活動として、農民の作神の宿る山とされる「葉山」登山を行った。参加者七名。天候晴。

寒河江市畑地区、葉山市民山荘前を9時15分に出発。残雪のブナ林を通り、稜線上の「お花畑」を経て、「小僧森」、「大僧森」二つの前山を超え、「天つぼ岩」で昼食。その後山頂(1462m)に立ち、更に奥の院まで行き下山。16時過ぎに出発地点に戻る。標高

差約700m  
距離9km、7  
時間のコース  
であった。  
当日は天候  
が回復し、朝  
日連峰・鳥海  
山・山形盆地  
が一望でき、  
特に雪に覆わ  
れた月山の眺  
望は圧巻であ  
った。登山道  
沿いには「し  
らねあおい」  
「やまつつ  
じ」など色々

## わたしの作品

《熊澤常也さんの作品》

書道を始め  
て十数年にな  
りますが、い  
まだにのし袋  
が書けません  
中の金額より  
袋代が高くつ  
く有様で、己  
のヘタさ加減  
にただただあ  
きれるばかり  
です。

一年一回の蔵増地区文化  
祭出展用の作品作りにも時  
間に追われ、書き上げるの  
がやっとでありました。  
今年の三月より勤務先  
が上山から寒河江に変わり、  
時間的に余裕ができ、月二  
回の練習日にも出席できる  
ようになりました。(皆勤  
賞狙います)  
北青壮年会書道部で入会  
している東邦書道会に、昨

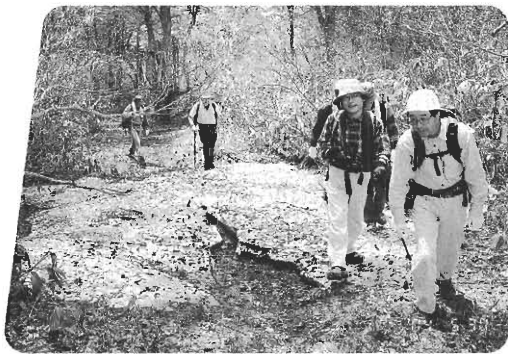
年から実用書の部門が新設  
され、当初の入部目的であ  
った実用文字を練習する機  
会を得ました。  
初めて筆を持ったときを思  
い出し、岩月先生の  
「継続は力なり」  
の教えを胸に、しっかりと  
練習し、いつかは自分の書  
ができるようがんばってい  
きたいと思えます。



「月落鳥啼霜滿天」(大意 月が沈み、鳥は鳴き、霜の気が空に満ちている)  
七言絶句 唐詩選 熊澤竹柳(常也) 書

の花が目を楽しませてくれ  
た。また、登山道にはかつ  
ての葉山修験所跡があり、  
往時の山岳信仰をしのぶこ  
とができた。当日は無風、  
気温も高く(下界は30度  
超え)体力を消耗したので、  
帰りは雛の湯でゆつくりと  
汗を流し家路についた。

(佐藤春彦 記)



残雪の涼がとっても気持ちいい。下界は30℃超え。

### ☆第30回詰め将棋

持ち駒 銀銀銀

6	5	4	3	2	1
		飛			皇
				王	銀
		皇	桂	王	
			?		桂

ヒント 1 銀がなければ二飛成の一発ですが、五分で四級(七手詰め)

# この人



村山市湯野沢に生まれ、少年時代は裏山でターザンごっこをしたり、手作りのヤスでカジカしえめをしたり、引竜湖で禁止の水泳をしたり、やんちやな子だった。

昭和五十六年、奥山茂夫家に入籍。青壮年会に入り一番の思い出は、と訊ねると、

「ソフトボールの東南村山大会で優勝したこと。連覇もした。あの頃は勝つて当たり前。負ける気がしなかった。」と話す。今年、五十嵐俊ちゃんの後を継いで市連合青壮年会の副会長に就いた。連合会の動きについて、  
「加盟団体が減る傾向にある。メリットが無い？かつてはソフトボールや将棋大

## 地域の友人と 一生の付き合いを

会に参加するためという動機があったかも知れない。でも、青壮年会の主旨はそれだけではないと思う。できることをやり、どういふふうにして地域づくりに結びつけていくか、時代の変化に沿い、青壮年会の原点、本質を見極めていくことが必要だ。」と熱く語る。

最後に、北青壮年会の皆さんには、「部活動に参加してなくても、色んな事業に参加して交流を深めてほしい。会社人、家族人だけで良いのか、退職して地域に帰った時ふと何をして過ごしたら良いか迷ってしまわないか。地域の友人は一生の付き合いとい生きがいを与えてくれるから。」とメッセージを送ってくれました。  
(聞き手 秋保米)

**奥山 正男 さん**  
北二区 昭和27年生まれ

## 北区の人事

北区の自治活動の先頭に立つてがんばっている北公民館運営委員会の方々に御紹介いたします。

- 連合会長 佐藤 良蔵
- 北一区長 森谷 茂伸
- 北二区長 岩淵 寛治
- 北三区長 蔵増 幸義
- 連合会計 秋保 松弘
- 青壮年会長 今田 光一
- 消防団部長 山崎 亮
- 老人会長 山崎秀太郎
- 婦人会長 (一) 森谷 孝子 (二) 山崎 弘子 (三) 東海林幸子
- 若妻会長 森山 千春
- 子ども育成会長 今田仁志
- 交通安全協会 山川 富雄
- KSC (一) 岩月成人 (二) 土屋明美 (三) 佐藤利光
- 北公民館主事 後藤 賢次
- 北公民館長 鈴木 清雄
- (KSCは旧体育指導員)

◎8月7日(土) 北青壮年

## いなかからの行事

- 会ピアパーティー
- ◎8月8日(日) 北堀公園 草刈・北区盆踊り大会
- ◎8月29日(日) 蔵増地区 レクリエーション大会
- ◎10月30日(土)～31日 (日) 蔵増地区文化祭

## でしほ

平成十五年度をもって次の方々が退会されました。皆様からは、青壮年活動の基礎づくり、そして活性化に御尽力いただきました。献身的な奉仕と、地域を愛する活動に深く感謝を申し上げます。

- 佐藤 政幸 様 (北一)
- 渡辺 勲 様 (北二)
- 五十嵐俊一 様 (北三)
- 土屋 博昭 様 (北三)
- 東海林 廣 様 (北三)
- \*\*\*\*\*
- ☆第30回詰め将棋の回答
- ▲1三銀 △3二玉
- ▲2一銀 △同 銀
- ▲2二銀成 △同 銀
- ▲2一銀 まで七手詰め



▽きれいなまちにするために、今年も舞鶴山の一斉清掃や、北区のごみゼロ運動に参加運動の甲斐あったか、以前よりごみが少なくなったようです。捨てられれば拾って、また拾い、きれいな環境になれば、捨てる人がモラルを捨てているのに気づくのでは。...

モンテディオ山形が大活躍しています。目指せJ1がんばれモンテ、私も応援しています。  
(写真部委員 大木富雄)

▽夕食時、テレビを見ていると夢を追って脱サラし、途中にして命を絶つたある人の事が報道された。小さな机の上だけの仕事に没頭し、毎日会社と自宅を往復するだけの自分に気が付き思わずハッとした。俺の夢は一体なんだろう。「そうねん」に関わる仲間と夢を探したい。  
(三区委員 土屋博明)

表紙題字 書道部長 土屋晃竹(博明)書